

知床の窓から見えるもの

2019年8月28日（木曜日）

「3ヶ月羅臼派遣 ～羅臼岳登山を終えて～」

6月から3ヶ月派遣で羅臼診療所にお世話になっている看護師です。

私は、埼玉県から来ました。私の勤める埼玉の病院からこちらの診療所への派遣は、私が初めてになります。羅臼町へ来た当初は、緊張や不安がありましたが、あっという間に3ヶ月を迎えようとしています。

450床の病院と14床の診療所ですので職場環境の違いはもちろんですが、それ以前に、この大自然の羅臼町での暮らしは、海がなく車の飛び交う埼玉の環境とは大幅に異なり、とても新鮮でした。今では、道路を平然と歩く鹿も朝早くから鳴くカモメにも慣れ、8月でも涼しい羅臼町を離れるのが惜しいです。また、何より“せっかく羅臼に来たから”と良くして下さった診療所スタッフや羅臼町の方々の優しさに触れ、身を持って町の温かさを実感しました。貴重な時間を過ごさせて頂き、感謝の気持ちでいっぱいです。

3ヶ月の間に羅臼ならではのことをしたい！と様々な体験をさせて頂きました。8月11日の山の日、羅臼岳登山に挑戦しました。天気が良いと診療所からも望むことのできる羅臼岳。日本百名山の一つで、標高は1661mと富士山の半分程ですが、登山ルートは標高差は約1400mと富士山の登山コースと変わらないそうです。羅臼側より楽だというウトロ側から登山しました。

連日雨が続く中、運よく天候にも恵まれ、登山前は少し肌寒いと思っていましたが、開始30分で汗が吹き出ていました。楽だと聞いていたはずが、足元は石や岩、木の根につまずき、頭上には低い枝が伸び何度も頭をぶつけ、頂上に近づくとさらに大きな岩が重なり...険しい登山路を超え、山頂まで無事に登りきることができた時の達成感は格別でした。生憎、山頂の景色は霧で隠れていましたが、いつも町から見ていた羅臼岳に登っていると思うと興奮しました。登りの道と同様、下山ももちろん険しい道のりで、下山し終えた際には、無事に帰れた安堵感で満たされました。登山は初めてではありませんでしたが、今まで経験した中でもっとも険しく、思い出に残る登山となりました。今、羅臼岳を見ると以前よりも少し馴染み深く感じます。

